

VI 推進体制

1. 関係機関の連携と役割分担

基本方針である「人がつながる みんなで育てる 持続可能な公共交通～誰もが気軽に移動できるまちを目指して～」を実現するために、本市の公共交通を支える「市民」「行政」「交通事業者」などの関係機関がそれぞれその役割を認識し、連携することが不可欠です。

そこで、連携・協働を推進するために、地域公共交通活性化協議会で協議しながら、計画を推進していくことが重要です。事業実施の際は、関係する実施主体が目標を共有し、目標達成に向けて協力していきます。

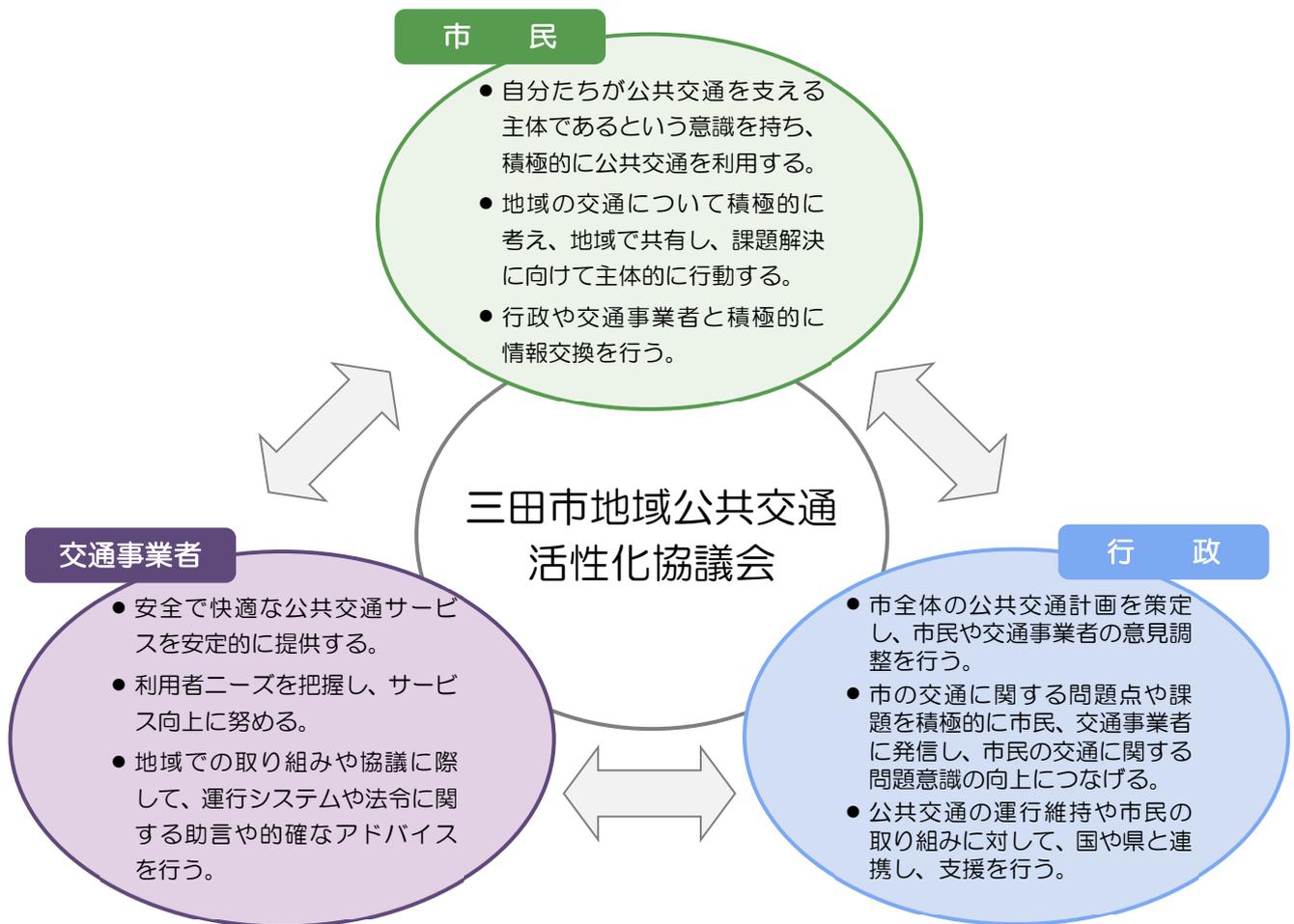


図 VI-1 公共交通を支える関係機関の役割と三者の連携

2. 施策・事業の評価に関する考え方

本計画に示した施策・事業は、「PLAN：計画」「DO：実施」「CHECK：評価・検証」「ACTION：見直し」のPDCAサイクルに基づき、評価指標や参考指標により達成状況を適正に評価・検証し、その結果を公表するとともに継続的に計画の見直しを行うことで、社会情勢の変化等に対応したより効果的で効率的な施策・事業への改善を図っていきます。

表 VI-1 PDCA サイクル

P	計 画 (PLAN)	事業の実施にあたっては、実施主体となる市民、行政、交通事業者等が連携して具体的な実施方法を検討します。
D	実 施 (DO)	各主体が連携して事業を実施していきます。
C	評価・検証 (CHECK)	「三田市地域公共交通活性化協議会」において年1回、事業の進捗状況を把握するとともに、評価指標や参考指標による事業の達成状況を評価し、その結果を公表していきます。
A	見直し (ACTION)	評価結果に基づき、問題点や課題を整理し、必要に応じて施策・事業について見直し、改善していきます。

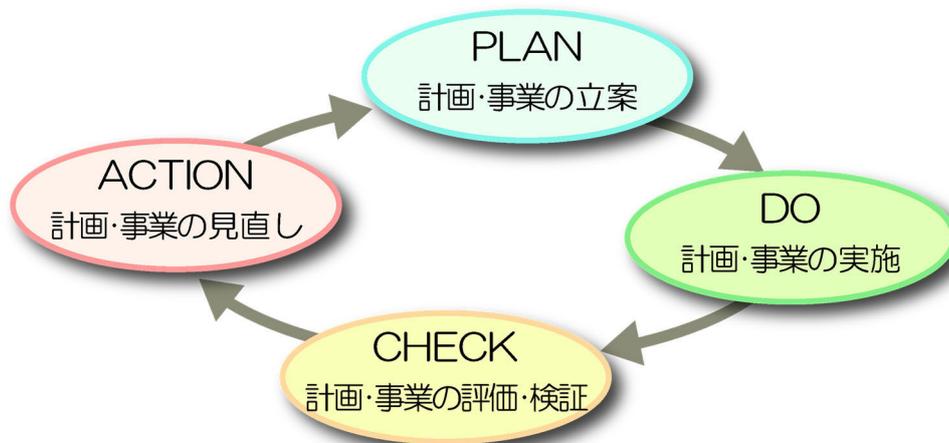


図 VI-2 PDCA サイクルのイメージ

3. 評価スケジュール

計画期間における事業の実施や評価等の取組スケジュールを以下に示しています。

表 VI-2 評価スケジュール

		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
計画策定	PLAN					
各事業の実施計画		○	○	○	○	○
施策・事業の実施	DO	○	○	○	○	○
協議会の開催 事業進捗の把握 事業達成状況の評価	CHECK	○	○	○	○	○
施策・事業の見直し 実施方法等の見直し	ACTION			○		